

経営比較分析表（令和4年度決算）

福岡県 久留米市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A2 | 自治体職員 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家産料金(円) | |
| - | 78.04 | 90.94 | 2,585 | |

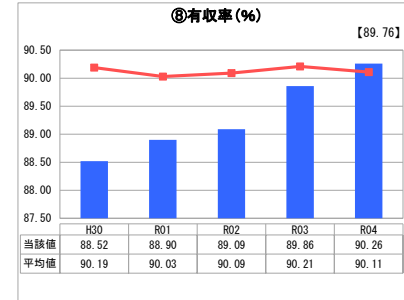
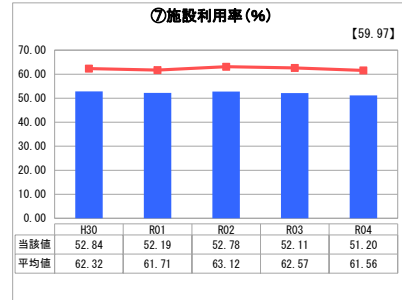
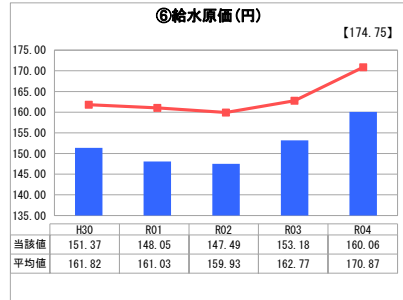
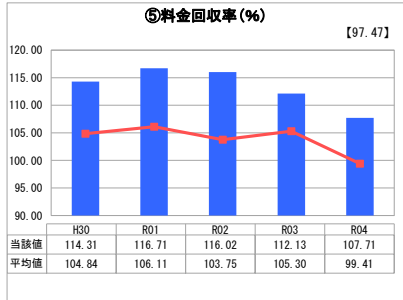
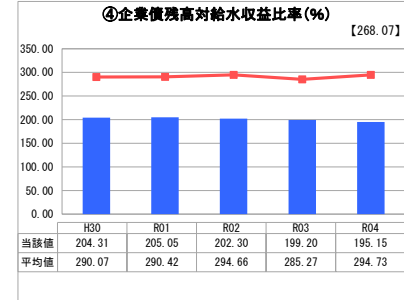
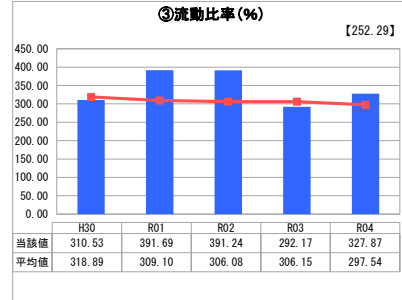
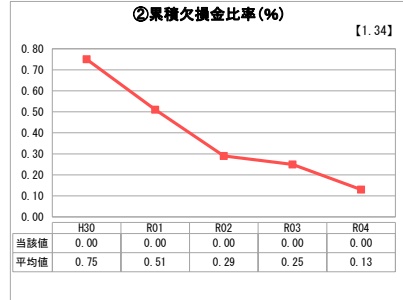
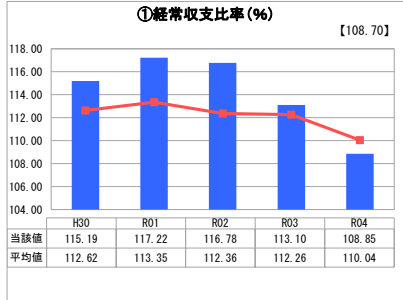
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 302,383 | 229.96 | 1,314.94 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 274,281 | 170.26 | 1,610.95 |

グラフ凡例

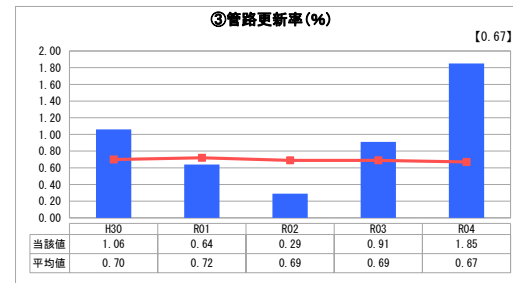
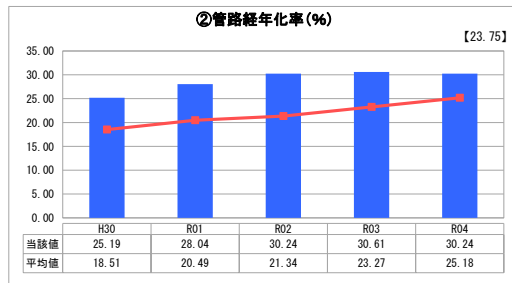
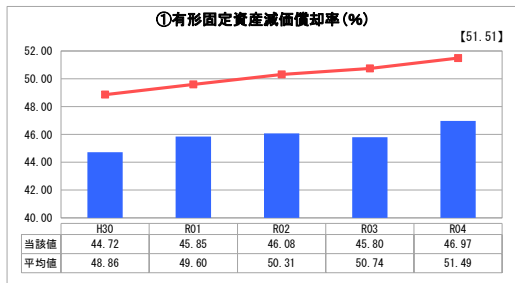
- 当該団体の値(当該値)
- 類似団体の平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

②累積欠損金比率、③流動比率、④企業債残高対給水収益比率、⑤料金回収率、⑥給水原価率
これらの指標は、類似団体の平均値よりも良好な値又は、同程度の値を示しており、経営の状況、資金の状況、債務の状況等の面から、健全な経営ができています。

①経常収支比率
令和4年度は全国平均値と同程度であるが、年々低下し、類似団体よりも低い数値となった。原因としては、需要減に伴う給水収益の減少及び動力費の急激な上昇などに伴う費用の増加等が考えられる。今後も経営状況の変化に留意しつつ、経営効率化を推進していく必要がある。

⑦施設利用率
類似団体の平均より低いが、災害等に備える危機管理のためや、老朽施設を改修するためには、ある程度の余裕が必要であるため、これらを踏まえて利用率の向上を目指していく必要がある。

⑧有収率
類似団体平均と比較し、低い数値となっていたが、水質管理や整備区域の拡大に伴う作業用など、収入としない水量の削減に努めた結果、数値は改善し、類似団体平均と同程度となった。今後も引き続き有収率向上対策に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
指標は、類似団体の平均に比べると老朽化の度合いは低い数値を示しているが、近年は上昇傾向が見られ、老朽化資産が増えてきている。

②管路経年率
類似団体の平均値よりも高い状況にあり、本市でも法定耐用年数を経過した水道管が多くなっている。

③管路更新率
本市では漏水事故の多くを占めるビニル製配水管の更新に取り組んでおり、類似団体の平均値よりも高い数値であるが、②管路経年率も高い状況であるため、引き続き、計画的に管路更新を実施していく必要がある。

全体総括

本市の水道事業は、健全性・効率性を示す指標については、健全な状況であるが、老朽化の状況を示す指標について、類似団体と比較し、健全とは言えない状況である。

今後は、人口減少による料金収入の減少が見込まれる一方で、施設の老朽化が進むことにより更新需要が増加していくことから、経営環境はより厳しいものとなっている。

このような中で、水道事業の持続的な安定経営を目的に令和2年度に策定した「経営戦略」の中期改定を行っているところであり、更なる経営安定化の推進に取り組んでいく。